

## 審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第5回情報のかけ橋委員会
2. 開催日時	平成30年1月26日（金） 午後1時30分～3時30分
3. 開催場所	理事者控室
4. 出席者氏名	<p>(委員) 〔敬称略〕</p> <p><small>副市長</small> 永作友寛 山守一徳 中北直子</p> <p>浅井榮二 伊藤あや 川口正人</p> <p>(事務局)</p> <p><small>危機管理特命理事 課長</small> 鈴木政博 <small>主幹</small> 浅井嘉人 岡田 久 勝田茂樹</p>
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍聴者数	0人
7. 担当	<p>松阪市</p> <p>秘書広報課 広報広聴係 勝田</p> <p>電話 0598-53-4312</p> <p>F A X 0598-22-1119</p> <p>メール kouhou@city.matsusaka.mie.jp</p>

## 第5回情報のかけ橋委員会 議事録

### 【委員会 式次第】

1. あいさつ
2. 広報まつさかりニューアル周期について
3. 行政チャンネルの運用について
4. 広報を戦略的に推進するためのガイドラインについて
5. その他
6. 次回会議日程について

## 1. あいさつ

委員長 新年ということで、今年もよろしくお願ひします。さて、今年は過去最大の予算規模となりそうです。やらなければならない事業でもあるのですが、将来の人々にツケを残さないよう、しっかり精査していきたいと感じています。

## 2. 広報まつさかりリニューアル周期について

事務局 広報まつさかのデザインのリニューアル周期について検討していきたいと思っています。何度か話し合ってきたことですが、ここで一度まとめたいと思っています。現在の広報まつさかのデザインは平成27年10月にプロポーザルにより業者選定を行い、リニューアルしました。当初は28年3月までの契約でしたが、デザインを短期間で変えてしまうのは市民の混乱を招きかねないということ、広報コンクール等で好評を得ていること、また3000人アンケートの結果などから、現在に至っています。それでは、これまでの情報のかけ橋委員会の議事内容について振り返ってみたいと思います。まずは、平成28年9月、昨年度第4回目の情報のかけ橋委員会で話し合われました。この際には、リニューアル周期については3年程度で検討した方がいいのではないか。また他市の状況も把握してはどうかという意見がありました。このことから、11月の第5回目の情報のかけ橋委員会の中で、他市の聞き取りについて発表しました。他市の状況については、基本的に周期等は決めておらず、その都度必要に応じて決定しているとのことでしたが、概ね3年以上というところが多かったので、概ね3年以上デザインが続いたら検討しようという話に落ち着きました。続いて、今年6月の第2回の情報のかけ橋委員会で、来年度にリニューアルをするための仕様等の話をさせていただく中で、委員の方からアンケート結果やコンクールの結果などから踏まえても、今デザインを変更する必要があるのか、ようやく定着してきたのではないかとといった意見が出てきました。そこで、来年度も随意

契約でいくのではどうかという話が出てきました。ただ、現在契約しているデザイン業者1社とこの先も随意契約のまま続けていくのかという、それはやはり問題が生じるのではないかというのも意見としてあがっていました。そこでデザインをリニューアルするためのプロポーザルを来年度開催するとなると、どうしても予算的には現状以上のものとなります。そこで、最大何年程度は随意契約で行うかということを決めて、来年度予算に反映していきたいと考えています。

委員 今回の契約金額の妥当性についてはいかがですか？

事務局 前回のプロポーザル結果からすると、ランニングコストは最も安価でありました。今回、プロポーザルの予算のために他社も含めて見積もりをとったところ、金額は上がっています。

委員 プロポーザルをすれば、現状よりも高価になる可能性があるということですか？

事務局 現状では提案型のプロポーザル入札にしています。これにも価格についてはもちろん配点されますが、やはり今以上の価格になってしまうことは想定できます。

委員 全くのリニューアルとなると全て見直しというわけですから、それだけお金もかかることは想像できます。例えばちょっとしたリニューアルということは現状の契約ではできませんか？

事務局 もし、金額だけの入札をすると、そこにクオリティが伴わない可能性があるのも、この状況を逆行させたくはないという思いはあります。現状の契約でも、マイナーチェンジということは可能だと感じます。

委員 例えばマイナーチェンジという意味では、表紙のデザインを変えるだけでも印象は変わると思います。

委員 今回のデザインについて強く変更したいという気持ちはないと思うので、欲を言えば、今の価格のままマイナーチェンジを続けられたらと思います。

委員 積極的に、この業務をやりたいという業者はあるのですか？

事務局 現状で提案が他業者からあるわけではないです。

事務局 今年の10月でまるっと3年となるわけですが、最大何年程度なら現状の業者でということがいえますか？

委員 随意契約については毎年同じ金額なのでしょうか？

事務局 同じ金額です。

委員 ちょっとしたリニューアルは必要ではないかという意見がありました。が、現実として可能ですか？

事務局 可能です。現状でも新コーナーができていますので、全部というわけではなく、打ち合わせの上であれば、数ページ単位では問題ないと思います。

委員長 予算査定の中でも、デザインが好評であるのに、変える必要があるのかという話が出ています。プロポーザルの見積もりを取って、最高額を決めて、プレゼンをしてもらうので、予算上は膨れ上がります。落札額は分かりませんが。ただ、それを何故3年目にやらなければならないのかという意見があったということです。一方で、ずっと同じ業者で良いのかというと、そこしかできないかとか、公平性という観点から、考えなければならないのかなということです。この広報は一社でしかできないものではないですか？

事務局 一社しかできないということではありません。ただ、この慣れ親しんだデザインをそのまま使うということは難しいと思います。

委員 もし続けていくのであれば、この広報紙がある程度の基準を満たしていることを証明するようなことが必要だと思います。

委員 この委員会の中で、そういう判断をしようという話は以前も出ていたように感じますし、それでいいのでは？

事務局 例えば、広報コンクールの結果ももうすぐ出ます。その場で入賞することができれば、それも1つの判断基準となります。

事務局 私はデザインも内容も満足していて、ようやくここにきて定着してきたのかなという思いがあるんです。私はある程度、例えば5年と

いうスパンをもって、考えていただくのはどうかと思います。

委員 広報に対する苦言を市民からもらうことはあるのでしょうか？

事務局 文字の大きさや配置について、意見をいただくことはあります。できるだけそのあたりは調整しています。

委員 内容が悪いという意見がないなら、アンケート結果から見ても満足いただいていることが分かるのではないのでしょうか。ここで変えてしまって、逆に高くて悪くなる可能性もあります。

委員 最長5年程度でいかがでしょうか。予算が上がってしまう可能性はどうしてもあると思いますが。

委員 他市では特に周期を決めていないというところもあるので、カッチリと厳密に決める必要はないかと思います。

事務局 来年度はこのままの業者で続けて、来年の秋口くらいに次年度について状況を見ながら判断すると。ただ、最長でも5年程度、5年目安ということで、この場では結論とさせていただきます。よろしいでしょうか？ありがとうございます。

### 3. 行政チャンネルの運用について

事務局 アイウエーブまつさかの背景デザインについて説明します。まず、現状の広報広聴係のケーブルテレビ関連業務を行う職員は昨年7月まで飯高振興局隣の飯高放送通信センターで勤務してました。しかし、この通信センターの民間移譲等が行われた結果、本庁での勤務に変更となりました。このことからスタジオでの収録ができなくなり、現在では暫定的に市内の様々な場所や市長応接室などで撮影を行っています。暫定的としたのが、今回話し合いたい簡易スタジオセットです。これはスチール製の骨組みに磁石をつけ、ビニール製の背景をおくというもので、スポーツ中継等のヒーローインタビューの際に使われるバックボードをイメージしていただくと良いかと思います。これを市内の松阪工業高校繊維デザイン科の生徒さんに、デザインを依頼し、作成をしてもらっています。このデザインについて皆さんにご意見をいただきたいと思います。生徒さんには実際の収録現場を確認してもらったり、数回の打ち合わせを重ねた

りして、今回4案ができましたので確認をいただければと思います。生徒さんには自分の意見が通らない場合があること、修正が必要となる場合があることは伝えてありますので、忌憚のない意見をお願いします。

委員 案2については縦縞というのが、松阪木綿らしくていいのですが、少し奇抜すぎるかなと思います。鉄格子のようなイメージが出てしまうかなと思います。案4はシンプルで、少し物足りないかなと思います。私は案1が良いかと思います。

委員 案2の木綿と森林資源というアイディアは良いと思うのですが、うまく伝わっていないかなという印象があります。僕は案3がシンプルであっさりしていいかなと思います。

委員 案1についてはお天気番組という感じがします。案2はおもしろいのですが、洋服の色を選ぶが難しいと思います。案3は良いのですが、色合いが少し淡すぎる感があるので、ここに松阪木綿の藍色とかを入れてみてはどうかなと感じます。私としては、案3かなと思います。

委員 パッと見オシャレに感じたのは案1です。そこにテーブルを置くなどすると少しごちゃごちゃ感が出るかなと感じます。周辺に様々置くのであれば、案3かなと思います。ただ、シンプルなものは汚れ等も使う中で気になりますね。

委員 案1はちょっと濃い感じがします。案2は木と藍の表現が合わないような感じがします。案3は分かりよいのではないかなと思います。すっきりしています。案4もシンプルで良いと思います。

委員長 案1が良いと思いました。パッと見たときに1が良いと感じました。案2は派手に見えました。案3・4は薄い感じがしたので、案1かなと感じました。

事務局 主には皆さんの意見が案1か案3に集中したかなと感じます。ここからは多数決で決めたいと思いますが、いかがですか。なお、予算上は来年度用のデザインも準備しています。

事務局 ということで、基礎としては案1で決定しました。ここに加える要素等があれば、皆さんご意見をください。

事務局 スタジオセット以外に、今回4月から放送する「HappyBirthday」のデモ画像が出来上がりましたのでご覧ください。これは広報まつさか裏表紙の「1歳になったよ」で全員が写すことができないので、行政チャンネルの認知度向上も含めて、実施させてもらおうと検討しています。これについて意見があれば教えてください。

委員 広報まつさかの裏のように、画像の境界線にふちを入れるのはできないでしょうか？

事務局 できます。検討させていただきます。

委員 1人一画面ということよろしいですか？

事務局 現在検討中ですが、想定として30人前後で検討しています。今のところは1人、一画面ということだと思います。

委員 人数が増えてきたときに全部で15分程度となってくると、それは長すぎるので、検討の余地がありそうです。

委員 少なくとも1人30秒は情報量としても長そうです。

事務局 ではデザイン面での縁取り、放送時間については一旦預らせてもらいます。続いて新番組の検討です。アンケートや皆さんの意見をふまえて、新番組も検討しています。例えば松阪高校のCMコンテスト、子育て情報番組、イベント情報、松阪市の昔映像、市長杯スポーツ大会の紹介、月間ダイジェストです。特に市内の高校生とのコラボレーションについては全校に声掛けし、少なくとも機会の提供をさせてもらいたいと思っています。

#### 4. 広報を戦略的に推進するためのガイドラインについて

事務局 来年度に向けて、松阪市の発行するチラシ、ポスターなどの刊行物について、松阪らしさを出していこうということになりました。この「松阪らしさ」とはという話ですが、例えば木綿柄というものもありますが、このあたりを一つのガイドラインとしてまとめていきたいと思っています。次回の会議で、その骨子を皆さんに見ていただければと思っていますので、よろしくをお願いします。

## 5. その他

事務局 1つ目は暮らしのガイドがようやく完成し、今年に入ってから市内にも配布をしております。目を通していただければと思います。2つ目は SNS についてです。松阪市でも Instagram という写真のアプリがありますが、これを追加したいと思っています。また、LINE@という法人向けの LINE の導入も検討しています。また、出前講座という、市の職員が市内の団体などでお話しをさせていただくというものです。これを来年度秘書広報課にも追加をさせていただきます。これを通じて行政チャンネルの認知度を向上したいと思っています。

## 6. 次回会議日程について

事務局 次回の会議日程は3月19日（月）の 13:30 からということですのでよろしく申し上げます。本日はありがとうございました。